

平成 28 年 7 月 25 日

平成 28 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海北陸水田作畑作・作業技術部会
冬作研究会開催要領

部会長 中央農業研究センター 生産体系研究領域長 大下泰生
副部会長 次世代作物開発研究センター 稲研究領域長 山口誠之
副部会長 農業技術革新工学研究センター 革新工学研究監 細川 寿

1. 趣旨

国内産麦の生産拡大と実需ニーズに対応するため、多収化や品質の向上、さらには年次変動の少ない安定栽培が求められる。そこで、収量や品質の飛躍的向上や安定化のための栽培技術の開発、生産現場における多収化・高品質化の取り組み等、現状や課題、今後の研究の推進方向を明らかにすることを目的に本研究会を開催する。

2. 開催日時 平成 28 年 9 月 14 日（水） 13:15～15 日（木） 12:00

3. 開催場所 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター（茨城県つくば市観音台 2-1-9）
展示会議室（3階）

4. 議 事

9 月 14 日（水） 13:15～17:15

1) 開会挨拶

2) 重点検討事項の検討

「麦類の多収・高品質化のための栽培技術の取り組みと課題」

(1) 小麦生産の現状と課題（仮題）

農林水産省・政策統括官付穀物課

轟木良則

(2) 小麦の超多収生産の可能性（仮題）

中央農研 生産体系研究領域

松山宏美

(3) 愛知県における小麦「きぬあかり」の多収化の取り組み（仮題）

愛知県農業総合試験場 作物研究室

伴佳典

(4) 茨城県におけるパン用小麦「ゆめかおり」の蛋白含有率適正化技術の取り組み（仮題）

茨城県農業総合センター農業研究所

中村憲治

(5) 大麦の需要拡大のためのもち麦開発と安定栽培技術（仮題）

次世代作物開発研究センター 麦研究領域

柳澤貴司

9 月 15 日（木） 9:00～12:00

3) 新品種候補、新配付系統と品種決定に関する情勢報告

4) その他

5. 参集範囲：農林水産省関係部局および農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、関東東海地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局の関係者、次世代作物開発研究センター、中央農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先（事務局）

中央農業研究センター 生産体系研究領域 松崎守夫

電話：029-838-8852

E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

7. その他

資料作成、参加申し込み、その他については、別途事務局より連絡する。